

日本財団わがまち基金 第2号案件の採択および事業の開始について ～大学生の生活支援から展開する多世代協働の団地再生～

桐生信用金庫（理事長：津久井 真澄）は、日本財団、信金中央金庫および全国信用金庫協会が連携して実施する「日本財団わがまち基金」を活用した地域創生支援スキームにおいて、当金庫と前橋工科大学等との連携事業として申請した「大学生の生活支援から展開する多世代協働の団地再生プロジェクト」が採択され、事業を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

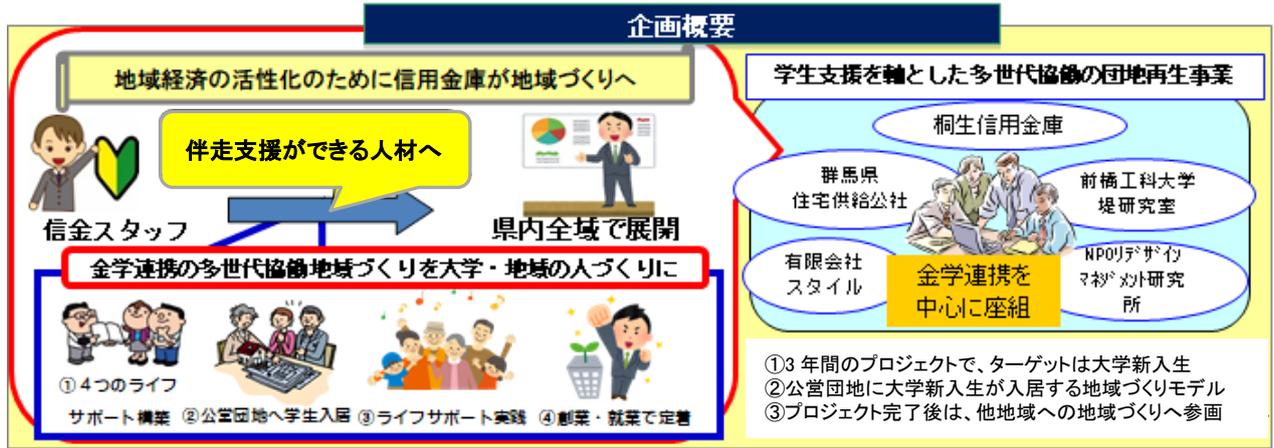
本スキームは、地域創生の推進に向け、地域の課題解決および地域の明るい未来を実現するために、全国の信用金庫およびその顧客等の実施する事業を対象に、日本財団が助成を行うものです。当金庫においては、平成30年10月に第1号案件が採択されており、今回で2事業目となります。当金庫では、今後も地域の課題解決に積極的に取り組むことで、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

記

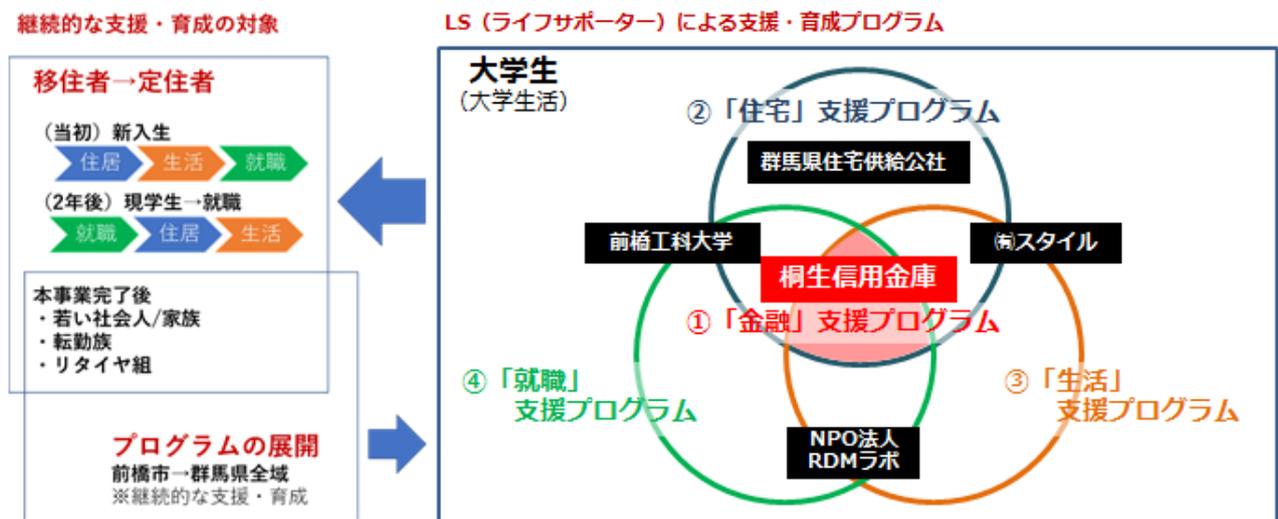
【事業概要】

事業名	大学生の生活支援から展開する多世代協働の団地再生		
事業者	桐生信用金庫		
事業 パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋工科大学（堤研究室） ・有限会社 スタイル ・特定非営利活動法人 リ・デザインマネジメント研究所 	連 携	群馬県住宅供給公社
内 容	<p>当金庫職員と前橋工科大学の大学生が中心となり、大学生を「金融」「住居」「生活」「就職」面から支援するライフサポートプログラム（LSP）を構築し、LSPを受けた大学生が将来的には、高齢化や少子化が進む団地再生を行い、大学卒業後に、群馬県内で就職もしくは起業し定住者となる仕組みを構築する事業。</p> <p>具体的には、当金庫、前橋工科大学、(有)スタイル、NPO法人リ・デザインマネジメント研究所、群馬県住宅供給公社等の関係者が連携して、下記4つの柱から生活支援を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「金融」支援として、大学生に対する金融リテラシーの醸成に努め、大学生の生活環境の基盤となる費用・資金などを一括管理 ②「住居」支援として、入居者自身による質の高い家具・室内空間の整備によるクオリティーオブライフ（QOL／生活の質）の向上実現 ③「生活」支援として、多世代協働の暮らしによる地域コミュニティの構築として、2拠点シェアカー導入と敷地環境整備ワークショップ等による団地再生への取り組み ④「就職」支援として、当金庫の地域ネットワークを活用し、学生と地元優良企業とのマッチングの実施および移住者向け企業支援による定住の促進 <p>本事業により、金学連携を軸に地域関係者を巻き込み、地域課題の解決に貢献することで、持続可能な地域社会の実現を目指していく。</p>		
助成金額	1,000万円		
事業期間	令和2年12月1日～令和5年11月30日（3年間）		

本事業の企画概要



事業体制とプログラムの展開



本事業は持続可能な地域・団地再生を目指す取り組みであり、当金庫が達成に向けて取組んでいる「SDGs (持続可能な開発目標)」が掲げる下記4項目の理念にも一致しています。

